

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 18 年 5 月 11 日 (2006.5.11)

【公開番号】特開 2002-14849 (P2002-14849A)  
 【公開日】平成 14 年 1 月 18 日 (2002.1.18)  
 【出願番号】特願 2000-200067 (P2000-200067)  
 【国際特許分類】

**G 0 6 F 11/32 (2006.01)**

**G 0 6 F 3/048 (2006.01)**

【F I】

G 0 6 F 11/32 K

G 0 6 F 3/00 6 5 2 A

G 0 6 F 3/00 6 5 4

【手続補正書】  
 【提出日】平成 18 年 3 月 15 日 (2006.3.15)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

それぞれ異なる形式のメッセージを出力し、かつ、それぞれ異なるコマンド体系を有するオペレーティング・システム (OS) が動作する複数計算機を監視するコンソール装置におけるシステム監視情報処理方法であって、

前記コンソール装置は、記憶装置と、表示装置とを含み、

前記方法は、

前記複数の計算機から、各計算機上で動作する OS が出力する複数のメッセージを取得し、

前記複数の計算機から取得した複数のメッセージの各メッセージをワード単位に分割し

前記記憶装置に格納されているファイルであって、前記複数の OS が出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列と、その文字列がそのメッセージ内の何番目のワードであるかを示す位置情報とを含む選択条件と、前記選択条件に対応する、共通形式のメッセージとが定義されているファイルを参照し、

前記複数の計算機から取得したメッセージ中に、前記選択条件が示す位置に前記選択条件が示す文字列がある場合、その取得したメッセージを、その一致した選択条件に対応する共通形式のメッセージに変換し、

前記共通形式に変換された各メッセージを前記表示装置に表示することを特徴とするシステム監視情報処理方法。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のシステム監視情報処理方法であって、

前記共通形式に変換された各メッセージを前記表示装置に表示する際に、そのメッセージの変換前のメッセージを併せて表示することを特徴とするシステム監視情報処理方法。

【請求項 3】

請求項 1 に記載のシステム監視情報処理方法であって、

前記共通形式に変換された各メッセージは日本語で前記表示装置に表示されることを特徴とするシステム監視情報処理方法。

**【請求項 4】**

それぞれ異なる形式のメッセージを出力し、かつ、それぞれ異なるコマンド体系を有するオペレーティング・システム（OS）が動作する複数計算機を監視するコンソール装置におけるシステム監視情報処理方法であって、前記コンソール装置は、記憶装置と、表示装置とを含み、前記方法は、

前記複数の計算機から、各計算機上で動作するOSが出力する複数のメッセージを取得し、

前記複数の計算機から取得した前記複数のメッセージを、共通形式のメッセージに変換し、

前記共通形式に変換された各メッセージを前記表示装置に表示し、

前記共通形式に変換された各メッセージを前記表示装置に表示する際に、そのメッセージを出力した計算機を識別するための情報併せて表示することを特徴とするシステム監視情報処理方法。

**【請求項 5】**

それぞれ異なる形式のメッセージを出力し、かつ、それぞれ異なるコマンド体系を有するオペレーティング・システム（OS）が動作する複数計算機を監視するコンソール装置におけるシステム監視情報処理方法であって、

前記コンソール装置は、記憶装置と、表示装置とを含み、

前記方法は、

前記複数の計算機から、各計算機上で動作するOSが出力する複数のメッセージを取得し、

前記記憶装置に格納されているファイルであって、前記複数のOSが出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列を含む選択条件と、前記選択条件に対応する、共通形式のメッセージとが定義されているファイルを参照し、

前記複数の計算機から取得したメッセージ中に、前記選択条件と一致する文字列がある場合、その取得したメッセージを、その一致した選択条件に対応する共通形式のメッセージに変換し、

前記共通形式に変換された各メッセージを前記表示装置に表示することを特徴とするシステム監視情報処理方法。

**【請求項 6】**

請求項 5 に記載のシステム監視情報処理装置であって、

前記一致した選択条件に対応する共通形式メッセージ中に、その取得したメッセージ中の一部の文字列を代入し、

その一部の文字列が代入されたメッセージを前記表示装置に表示することを特徴とするシステム監視情報処理方法。

**【請求項 7】**

請求項 5 に記載のシステム監視情報処理方法であって、

前記ファイルには、前記複数のOSが出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列と、その一部の文字列のそのメッセージ内での位置情報とを含む選択条件と、前記選択条件に対応する、共通形式のメッセージとが定義されていることを特徴とするシステム監視情報処理方法。

**【請求項 8】**

請求項 1 に記載のシステム監視情報処理装置であって、

前記一致した選択条件に対応する共通形式メッセージ中に、その取得したメッセージ中の一部の文字列を代入し、その一部の文字列が代入されたメッセージを前記表示装置に表示することを特徴とするシステム監視情報処理方法。

**【請求項 9】**

請求項 4 に記載のシステム監視情報処理方法であって、

前記記憶装置に格納されている、前記複数のOSが出力する複数のメッセージ中の付加情報に含まれる、それらのメッセージの重要度を示す情報を含む選択条件と、前記選択条

件に対応する共通形式メッセージとを格納するファイルを参照し、

前記複数の計算機から取得したメッセージ中の付加情報中に、前記選択条件と一致する重要度が定義されている場合、その取得したメッセージを、その一致した選択条件に対応する共通形式のメッセージに変換することを特徴とするシステム監視情報処理方法。

【請求項 10】

請求項 9 に記載のシステム監視情報処理装置であって、

前記一致した選択条件に対応する共通形式メッセージ中に、その取得したメッセージ中の一部の文字列を代入し、

その一部の文字列が代入されたメッセージを前記表示装置に表示することを特徴とするシステム監視情報処理方法。

【請求項 11】

それぞれ異なる形式のメッセージを出力し、かつ、それぞれ異なるコマンド体系を有するオペレーティング・システム（OS）が動作する複数計算機を監視するコンソール装置におけるシステム監視情報処理方法であって、

前記コンソール装置は、記憶装置と、表示装置とを含み、

前記方法は、

前記複数の計算機から、各計算機上で動作する OS が出力する複数のメッセージを取得し、

前記複数の計算機から取得した前記複数のメッセージを、共通形式のメッセージに変換し、

前記複数の計算機から取得した前記複数のメッセージの各メッセージに対して、対処方法を前記表示装置に表示し、そのメッセージを出力した OS 固有のコマンドであって、その対処方法を実行するためのコマンド生成し、

そのコマンドを、そのメッセージを出力した OS に送信し、

前記共通形式に変換された各メッセージを前記表示装置に表示することを特徴とするシステム監視情報処理方法。

【請求項 12】

請求項 11 に記載のシステム監視情報処理方法であって、

前記記憶装置に格納されているファイルであって、前記複数の OS が出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列を含む第 1 の選択条件と、前記選択条件に対応する、共通形式のメッセージとが定義されているファイルを参照し、

前記複数の計算機から取得したメッセージ中に、前記選択条件と一致する文字列がある場合、その取得したメッセージを、その一致した選択条件に対応する共通形式のメッセージに変換し、

前記記憶装置に格納されているファイルであって、前記複数の OS が出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列を含む第 2 の選択条件と、前記選択条件に対応する、そのメッセージに対する対処方法が表記されるメッセージとが定義されている第 2 のファイルを参照し、

前記複数の計算機から取得したメッセージ中に、前記第 2 の選択条件と一致する文字列がある場合、その一致した第 2 の選択条件に対応する、対処方法が表記されるメッセージを前記表示装置に表示することを特徴とするシステム監視情報処理方法。

【請求項 13】

請求項 12 に記載のシステム監視情報処理方法であって、

前記第 1 の選択条件と、前記第 2 の選択条件は同一であることを特徴とするシステム監視情報処理方法。

【請求項 14】

請求項 12 に記載のシステム監視情報処理装置であって、

前記一致した前記第 1 の選択条件に対応する共通形式メッセージ中に、その取得したメッセージ中の一部の文字列を代入し、

その一部の文字列が代入されたメッセージを前記表示装置に表示し、  
前記一致した前記第 2 の選択条件に対応する対処方法が表記されるメッセージ中に、その取得したメッセージ中の一部の文字列を代入し、  
その一部の文字列が代入された対処方法を表記するメッセージを前記表示装置に表示することを特徴とするシステム監視情報処理方法。

【請求項 1 5】

請求項 1 2 に記載のシステム監視情報処理方法であって、  
前記第 1 のファイルには、前記複数の OS が出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列と、その一部の文字列のそのメッセージ内での位置情報とを含む前記第 1 の選択条件と、前記第 1 の選択条件に対応する、共通形式のメッセージとが定義されており、  
前記第 2 のファイルには、前記複数の OS が出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列と、その一部の文字列のそのメッセージ内での位置情報とを含む前記第 2 の選択条件と、前記第 2 の選択条件に対応する、そのメッセージに対する対処方法が表記されるメッセージとが定義されていることを特徴とするシステム監視情報処理方法。

【請求項 1 6】

請求項 1 1 に記載のシステム監視情報処理方法であって、  
前記複数の計算機から取得した複数のメッセージの各メッセージをワード単位に分割し、  
前記記憶装置に格納されているファイルであって、前記複数の OS が出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列と、その文字列がそのメッセージ内の何番目のワードであることを示す位置情報とを含む第 1 の選択条件と、前記第 1 の選択条件に対応する、共通形式のメッセージとが定義されているファイルを参照し、  
前記複数の計算機から取得したメッセージ中に、前記選択条件が示す位置に前記第 1 の選択条件が示す文字列がある場合、その取得したメッセージを、その一致した選択条件に対応する共通形式のメッセージに変換し、  
前記記憶装置に格納されているファイルであって、前記複数の OS が出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列と、その文字列がそのメッセージ内の何番目のワードであることを示す位置情報とを含む第 2 の選択条件と、前記第 2 の選択条件に対応する、そのメッセージに対する対処方法が表記されるメッセージとが定義されている第 2 のファイルを参照し、  
前記複数の計算機から取得したメッセージ中に、前記第 2 の選択条件が示す位置に前記第 2 の選択条件が示す文字列がある場合、その一致した第 2 の選択条件に対応する、対処方法が表記されるメッセージを前記表示装置に表示することを特徴とするシステム監視情報処理方法。

【請求項 1 7】

請求項 1 6 に記載のシステム監視情報処理装置であって、  
前記一致した前記第 1 の選択条件に対応する共通形式メッセージ中に、その取得したメッセージ中の一部の文字列を代入し、  
その一部の文字列が代入されたメッセージを前記表示装置に表示し、  
前記一致した前記第 2 の選択条件に対応する対処方法が表記されるメッセージ中に、その取得したメッセージ中の一部の文字列を代入し、  
その一部の文字列が代入された対処方法を表記するメッセージを前記表示装置に表示することを特徴とするシステム監視情報処理方法。

【請求項 1 8】

それぞれ異なる形式のメッセージを出力し、かつ、それぞれ異なるコマンド体系を有するオペレーティング・システム（OS）が動作する複数計算機を監視し、記憶装置と、表示装置とを含むコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読

み取り可能な記録媒体であって、

前記プログラムは、

前記複数の計算機から取得した、各計算機上で動作するOSが出力する複数のメッセージの各メッセージをワード単位に分割し、

前記記憶装置に格納されているファイルであって、前記複数のOSが出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列と、その文字列がそのメッセージ内の何番目のワードであるかを示す位置情報とを含む選択条件と、前記選択条件に対応する、共通形式のメッセージとが定義されているファイルを参照し、

前記複数の計算機から取得したメッセージ中に、前記選択条件が示す位置に前記選択条件が示す文字列がある場合、その取得したメッセージを、その一致した選択条件に対応する共通形式のメッセージに変換し、

前記共通形式に変換された各メッセージを前記表示装置に表示することを特徴とするコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体。

【請求項 19】

請求項 18 に記載のコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体であって、

前記プログラムは、

前記共通形式に変換された各メッセージを前記表示装置に表示する際に、そのメッセージの変換前のメッセージを併せて表示することを特徴とするコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体。

【請求項 20】

請求項 18 に記載のコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体であって、

前記プログラムは、

前記共通形式に変換された各メッセージを日本語で前記表示装置に表示することを特徴とするコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体。

【請求項 21】

それぞれ異なる形式のメッセージを出力し、かつ、それぞれ異なるコマンド体系を有するオペレーティング・システム(OS)が動作する複数計算機を監視し、記憶装置と、表示装置とを含むコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体であって、

前記プログラムは、

前記複数の計算機から取得した、各計算機上で動作するOSが出力する複数のメッセージの各メッセージをワード単位に分割し、

前記記憶装置に格納されているファイルであって、前記複数のOSが出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列と、その文字列がそのメッセージ内の何番目のワードであるかを示す位置情報とを含む選択条件と、前記選択条件に対応する、共通形式のメッセージとが定義されているファイルを参照し、

前記複数の計算機から取得したメッセージ中に、前記選択条件が示す位置に前記選択条件が示す文字列がある場合、その取得したメッセージを、その一致した選択条件に対応する共通形式のメッセージに変換し、

前記共通形式に変換された各メッセージを前記表示装置に表示する際に、そのメッセージを出力した計算機を識別するための情報を併せて表示することを特徴とするコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体。

【請求項 22】

それぞれ異なる形式のメッセージを出力し、かつ、それぞれ異なるコマンド体系を有するオペレーティング・システム(OS)が動作する複数計算機を監視し、記憶装置と、表示装置とを含むコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読

み取り可能な記録媒体であって、

前記プログラムは、

前記複数の計算機から取得した、各計算機上で動作するOSが出力する複数のメッセージの各メッセージをワード単位に分割し、

前記記憶装置に格納されているファイルであって、前記複数のOSが出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列を含む選択条件と、前記選択条件に対応する、共通形式のメッセージとが定義されているファイルを参照し、

前記複数の計算機から取得したメッセージ中に、前記選択条件と一致する文字列がある場合、その取得したメッセージを、その一致した選択条件に対応する共通形式のメッセージに変換し、

前記共通形式に変換された各メッセージを前記表示装置に表示することを特徴とするコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体。

【請求項 2 3】

請求項 2 2 に記載のコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体であって、

前記プログラムは、

前記一致した選択条件に対応する共通形式メッセージ中に、その取得したメッセージ中の一部の文字列を代入し、

その一部の文字列が代入されたメッセージを前記表示装置に表示することを特徴とするコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体。

【請求項 2 4】

請求項 2 2 に記載のコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体であって、

前記プログラムは、

前記複数のOSが出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列と、その一部の文字列のそのメッセージ内での位置情報とを含む選択条件と、前記選択条件に対応する、共通形式のメッセージとが定義されている前記ファイルを参照することを特徴とするコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体。

【請求項 2 5】

それぞれ異なる形式のメッセージを出力し、かつ、それぞれ異なるコマンド体系を有するオペレーティング・システム(OS)が動作する複数計算機を監視し、記憶装置と、表示装置とを含むコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体であって、

前記プログラムは、

前記複数の計算機から取得した、各計算機上で動作するOSが出力する複数のメッセージの各メッセージをワード単位に分割し、

前記記憶装置に格納されているファイルであって、前記複数のOSが出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列と、その文字列がそのメッセージ内の何番目のワードであるかを示す位置情報とを含む選択条件と、前記選択条件に対応する、共通形式のメッセージとが定義されているファイルを参照し、

前記複数の計算機から取得したメッセージ中に、前記選択条件が示す位置に前記選択条件が示す文字列がある場合、その取得したメッセージを、その一致した選択条件に対応する共通形式のメッセージに変換し、

前記共通形式に変換された各メッセージを前記表示装置に表示し、

前記複数の計算機から取得した前記複数のメッセージの各メッセージに対して、対処方法を前記表示装置に表示し、

前記各メッセージを出力したOS固有のコマンドであって、その対処方法を実行するた

めのコマンドを生成し、そのコマンドを、そのメッセージを出力したOSに送信することを特徴とするコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体。

【請求項 2.6】

請求項 2.5 に記載のコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体であって、

前記プログラムは、

前記記憶装置に格納されているファイルであって、前記複数のOSが出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列を含む第1の選択条件と、前記選択条件に対応する、共通形式のメッセージとが定義されているファイルを参照し、

前記複数の計算機から取得したメッセージ中に、前記選択条件と一致する文字列がある場合、その取得したメッセージを、その一致した選択条件に対応する共通形式のメッセージに変換し、

前記記憶装置に格納されているファイルであって、前記複数のOSが出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列を含む第2の選択条件と、前記選択条件に対応する、そのメッセージに対する対処方法が表記されるメッセージとが定義されている第2のファイルを参照し、

前記複数の計算機から取得したメッセージ中に、前記第2の選択条件と一致する文字列がある場合、その一致した第2の選択条件に対応する、対処方法が表記されるメッセージを前記表示装置に表示することを特徴とするコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体。